



立ち方・見方

中学部副校長 池上 太郎

日増しに秋が深まり、朝晩は肌寒さを感じることも多くなりました。8月の終わりに発令された緊急事態宣言も解除され、1か月ほど続いた分散登校も終わりました。10月4日から児童生徒がそろって登校できるようになりました。引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じ、教育活動を進めていきたいと思えます。

さて先日、中学部では生徒会の新たな代表を決める生徒会役員選挙が行われました。例年通りであれば、体育館に全校生徒が集まり、候補者や応援者の演説を聞きます。その後、区役所から借りた本物の投票箱に投票用紙を入れ、選挙管理委員会で開票作業が行われていました。しかし、そのいつものことが感染拡大につながることを懸念され、行うことができませんでした。コロナ禍で本物体験ができなかったのは残念でしたが代わりに今まで考えなかった方法（オンライン投票）で実施することができました。GIGAスクール構想で配備された1人1台端末を使い、投票から開票まで短時間で終わることができました。



日頃、サッカーのコーチをする際、子どもたちに「立ち方、見方」という言葉を使います。自分がボールを受けるときにどの位置にどのような向きでいることが最適なのかを考えさせるときに使います。立ち方・見方を変えると今まで見えていなかったものが見え、プレーが好転することがあります。同様にコロナ禍でいろいろ制限がある教育活動の中にも新しい発見がいくつもありました。見方を少し変えることで、今までよりも効果的な活動ができることもあります。変えない方がよいこともあります。時代によって変化することも大事であると実感しました。

小学部は23日に「運動会」、中学部は28日、29日で「学習発表会（あすなろ）」が実施される予定です。協働し互いを高め合うという目的は変わりませんが、コロナ禍のその時の状況にあった新しいやり方で、子どもたちは多くの経験をし、成長してくれることと思えます。本年度も地域の皆様に子どもたちの成長する姿を直接ご覧いただけないのは残念ですが、引き続き見守り、応援していただければと思えます。

【学校ホームページのお知らせ】

*各学年の活動や、学校からのお知らせを掲載しております。

<霧が丘学園ホームページ>

URL <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es-jhs/kirigaoka/>



QRコード